機械設備工事　特記仕様書

●印を適用する

1．工事名称

項目	内容
工事名称	平成25年度　中央公民館改修工事
工事場所	
工事期間	着工　年　月　日,竣工　年　月　日（　日間）

2．建物概要

項目	内容		
構造	○S造　●RC造　○SRC造　○木造　○		
階数	地下　階,　地上　3階,　塔屋　階,　全高　m		
敷地面積	㎡	建築面積	㎡
延床面積	㎡		
用途地域			
建物用途			
防火対象物	（　　）　令別表第　項（　）		

3．工事種目

区分		
衛生設備工事	○衛生器具設備	○風呂濾過循環設備
	●給水設備	○浄化槽設備
	●排水通気設備	○厨房機器設備
	○給湯設備	○
	○ガス設備	○
	○消火設備	○
空調設備工事	○空調機器設備	○
	○配管設備	○
	○換気設備	○
	○排煙設備	○
	○床暖房設備	○
	○自動制御設備	○

4．共通仕様

項目	内容
適用	本工事は、この特記仕様書、設計図、下記仕様書を適用する。 ●国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、機械設備工事共通仕様書（最新版）　同標準図、同監理指針 ○日本建築家協会監修、建築設備工事共通仕様書（最新版） ○ ○
優先順位	1.現場係員の指示　2.現場説明事項　3.特記仕様書 4.設計図書　5.共通仕様書
関連法規	本工事は、建設業法、建築基準法、消防法、ガス事業法、水道法、労働安全衛生法、ならびに関連諸法令を尊守し、完全に施工のこと。

項目	内容
申請手続	本工事に関する関係諸官庁等への申請手続きは、本工事請負人がその業務を代行し、要する費用はすべて請負者の負担とする。
変更	発注者の指示により、設計図に該当しない変更を生じた時は、原則として事前に見積書を作成し、承諾されたのち、変更工事に着手すること。
	また、図面等に記載が無くとも、技術上、関連法令上、または美観上当然必要と認められる軽微な変更は、請負金額の変更を行わない。
検査・試験	工事完了に際し、関係諸官公署および、電気、上下水道、ガス事業所等の行う検査、ならびに現場係員の指示する各種試験に合格すること。
しゅん工図書（引渡物品）	本工事しゅん工後、現場係員の指示する期限内に、速やかに、下記図書を提出のこと。 ●しゅん工図　（○黒表紙金文字製本　部 ●背張製本　3部 ○　部） ●施工図　（○黒表紙金文字製本　部 ●背張製本　3部 ○　部） ○しゅん工写真（○アルバム　部、○ファイル　部、 ○　部） ●工事写真　（●アルバム　1部、○ファイル　部、 ○　部） ●機器完成図　3部　●試験成績表　3部 ●取扱説明書　3部　●各種保証書　2部 ●官公署届出書（副本、検査済証、控等）　2部 ●予備品・工具一覧表　1部 ●予備品・保守点検用工具類一式

5．特記仕様

区分	項目	内容
●一般事項	●機材等	本工事着工前に使用機材メーカーリストを現場係員に提出し、承諾を得たのち、着工すること。
	○機材等の検査および試験	検査および試験を行うべき機材等は、共通仕様書による。 なお、工場立会検査機材は下記とする。 （○係員の指示する機器　○　○　）
	○監督員事務所	○設けない　○設ける（備品含む）
	○工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・上下水・ガスの使用料、および諸手続などの費用は下記とする。 ○本工事　●建築工事　○別途工事　○無償
	○工事用仮設物	構内につくることが、　○できる　○できない
	○足場･さん橋類	○工事契約の建築請負人が設置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で負担する。
	○残土処分	○構内敷ならし　○構内指定場所にたい積　○構外搬出適切処置
	●発生材の処理	○発生材は係員の指示により、相手方に引渡す。 ●構外搬出適切産廃処分とする（報告書提出のこと）。
	●はつり	●既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則として　ダイヤモンドカッターによる。
	○その他	○既存の冷媒ガス回収。

6．工事概要

衛生設備工事

区分	項目	内容
○衛生器具設備	工事概要	
	記号	便宜上、下記メーカーの品番を使用する。 ○TOTO　○INAX　○
	器具	○フラッシュバルブ（○節水形　○一般形　○低圧形） ○節水コマ（洗面器、手洗器）使用
	本工事範囲	○衛生陶器類（セット）　○洗面化粧台 ○水栓（単体）　○散水栓　○散水栓ボックス ○シャワーセット　○洗濯排水パン　○排水金物類 ○自動洗浄装置二次側配線　○自動洗浄装置二次側配管
●給水設備	工事概要	
	水源	●上水道　○井水　○　引込管（○新設　●既設）
	方式	○直圧式　●重力式　○増圧給水式　●自動給水加圧ポンプ式
	量水器	○借用　mm　○購入　mm　○既設撤去（　mm）
	負担金等	○負担金　○加入金　○本管連絡費　○別途　○不要
	機器類	別記機器表による　●受水槽　●高架水槽　●ポンプ
	器具類	○水栓（単体）　○散水栓　○散水栓ボックス　○シャワーセット
	配管	別記配管材料表による　●給水管　●揚水管　○井水管　○工水
	防露	別記保温仕様表による。 ●ただし、屋外露出は防凍仕様とする。
	弁類	直圧部　（○水道局認定品　●JIS10K　○JIS5K　●管端コア付） ポンプ廻り（●JIS10K　○JIS5K　●管端コア付　） その他　（○JIS10K　○JIS5K　●管端コア付　） 65A以上　（○鋳鉄製　●ナイロンコーティング製）
○排水通気設備	工事概要	
	方式	屋内（●分流　○合流）屋外（○分流　●合流）雨水（●分流　○合流）
	放流先	汚水　（●下水道　○浄化槽　○　） 雑排水　（●下水道　○浄化槽　○側溝　○水路　○　） 雨水　（○下水道　●側溝　○水路　○　） 排水規制（○無　○有）
	排水槽	○汚水槽　○雑排水槽　○混合水槽　○雨水槽　○湧水槽
	負担金等	○要　○別途　○不要　本管接続管（○新設　○既設）
	機器類	別記機器表による。 ○ポンプ　○排水槽　○グリストラップ
	器具類	○排水金物類
	配管	別記配管材料表による。 ●汚水管　●雑排水管　○特殊排水管　●通気管　○
	防露	別記保温仕様表による。
○給湯設備	工事概要	
	方式	○中央式　●個別式
	熱源	○都市ガス（○13A　○　）●LPG　○油　○電気　○
	機器類	別記機器表による　○ボイラ　○温水機　●給湯機　○電気温水機 ○ソーラー　○貯湯槽　○膨張水槽　○ポンプ
	配管	別記配管材料表による。　○給湯管　○膨張管　○
	保温	別記保温仕様表による。
	弁類	給水の項に準ずる。
	煙突・煙道	○煙突（○本工事　○別途）○煙道（○本工事　○別途） 材質（○鋼板　○SUS　○　）板厚（○3.2mm　○2.0mm　○　）
	その他	○給湯機排気筒で天井インペイ部は、ロックウール20mm以上にて断熱する。 ○電食防止必要箇所には、絶縁継手を取付ける。
●ガス設備	工事概要	
	種類	○都市ガス（○13A　○　）（　kcal/m³） ●LPG（　kcal/kg）
	メーター	○借用（　号）　○購入（　号）　引込管（○新設　○既設）
	負担金等	○要　○別途　○不要
	機器類	別記機器表による　○給湯機　○コージェネレーション　○
	配管	別記配管材料表による。
	ボンベ･その他	○ボンベ（○50kg　○20kg）（○本工事　○建築工事　○別途工事） ○集合装置（　本　列）（○本工事　○建築工事　○別途工事） ○ボンベ庫（○鋼板　○CB）（○本工事　○建築工事　○別途工事） ○ガス連動遮断システム　（○本工事　○建築工事　○別途工事） ○ガス漏れ警報設備 （○本工事　○建築工事　○電気工事　○別途工事）
●消火設備	工事概要	
	種類	○屋内消火栓（○１号　○２号）　○屋外消火栓 ○スプリンクラー　（○乾式　○湿式）　○連結散水 ○連結送水管　○消火器　○フード簡易自動消火 ○特殊消火（　）（○固定式　○移動式）（○全域放出　○局所放出）
	水源	有効　m³　（○本工事　○建築工事）
	機器類	別記機器表による　○ポンプ　○消火水槽　●消火充水槽
	配管	別記配管材表表による。
	防露	別記保温仕様表による。　●ただし屋外露出は防凍仕様とする。
	弁類	○特記なき限り、JIS10Kとする。
○風呂濾過循環設備	工事概要	
	方式・能力	（　方式）（　m³/Hr）
	機器類	別記機器表による　○濾過機　○ポンプ　○滅菌機　○除毛器 ○熱交換器　○制御盤
	配管	別記配管材料表による。
	保温	別記保温仕様表による。
	弁類	給水の項に準ずる。

平成２５年度中央公民館改修工事　設計図				
SCALE	SCALE	SCALE	SCALE	
特記仕様書1				
DW.	CK.	NO. M-01	DATE 25-08	

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

○浄化槽設備

項目	内容
工事概要	
方　　式	○単独（　　製）（　　　　方式）○合併（　　製）（　　　　方式）
形　　式	○ユニット　○現場施工（○地上　○地下　○全地下　○　　　）
JIS算　定	用途（　　　　　）　人員（　　　人槽）　水量（　　　m³/日）
放流水質	BOD　　ppm. COD　　ppm. SS　　ppm. TN　　ppm. TP　　ppm.
放 流 先	○河川　○水路　○側溝　○　　　　○ポンプ放流　○自然放流
工事範囲	○コンクリート躯体（○本工事　○建築工事）
	○基礎杭（○本工事　○建築工事）
	○土止め（○本工事　○建築工事）
	○ブロアー室（○本工事　○建築工事）
	○防護さく（○本工事　○建築工事）
	○制御盤（○本工事　○電気工事）
	○二次側電気工事（○本工事　○電気工事）
	○原水ポンプ槽　　　○放流ポンプ槽
	○放流同意金（○本工事　○別途工事）

○厨房機器設備

項目	内容
工事概要	
機 器 類	別記機器表によるも、寸法は概略寸法とする。
熱　　源	○都市ガス（○13A　○　　　　）　　○電気　　○油
制 御 盤	○製造者の標準形とする。

空調設備工事

○工事概要

工事概要

設計温度

	外気		室内				備考
			一般系統		系統		
	温度℃	湿度%	温度℃	湿度%	温度℃	湿度%	
夏期							
冬期							

○熱源機器設備

項目	内容
機 器 類	○ボイラ　○温水機（○真空式　○無圧式）○冷凍機　○冷温水機
	○冷却塔　○チリングユニット　○熱交換器　○膨張タンク
	○冷温水ポンプ　○冷却水ポンプ　○オイルギアポンプ
	○オイルタンク　○オイルサービスタンク　○煙突　○煙道
熱　　源	○都市ガス（○13A　○　　　　）　○LPG
	○灯油　○重油　○電気　○蒸気　○

○空調機器設備

項目	内容
機 器 類	○エアハンドリングユニット　○ファンコイルユニット
	○ファンコンベクター　○ルームエアコン
	●パッケージエアコン【（●電気式　○ガス式）,
	（○水冷　○空冷　○ヒートポンプ）,（○個別　○ビル用マルチ）】
	○温風暖房器　○全熱交換器　○空気清浄器
	○電気集塵器　○加湿器　○除湿器　○
制御機器	○集中管理コントローラー　●リモコンスイッチ　○

○配管設備

項目	内容
配　　管	別記配管材料表による。
	○冷温水　○冷却水　○ドレン　○蒸気　○油　○膨張　○冷水
	○温水　●冷媒　○
保　　温	別記保温仕様表による。
弁　　類	○ポンプ廻り（○JIS10K　○JIS5K）○その他（○JIS10K　○JIS5K）
そ の 他	●パッケージエアコン等の室内外機の渡り配線は、
	冷媒管共巻きと（●する　○しない）（●本工事　○電気工事）
	○集中管理制御用配管配線（○本工事　○電気工事）

○ダクト設備

項目	内容
種　　類	○低速ダクト　　○高速ダクト
材　　質	○亜鉛鉄板　○SUS　○塩ビ　○グラスウール
	○保温消音フレキシブル
工　　法	○アングル　○コーナーボルト（○共板　○スライド）
	○スパイラル　○フレキシブル
制気口類	○鋼板製(メラミン焼付）　○アルミ製　○樹脂製
	○木製（○本工事　○建築工事）　○
チャンバー	○吹出口、吸込口、チャンバーはメーカー標準付属品
	○内貼チャンバーの表示寸法は外法を示す。
	○空調機等のサプライチャンバー、レタンチャンバーおよび風道系で消音内貼したチャンバーには、点検口を設けること。
	○外壁面のガラリに直接取付けるチャンバーおよびホッパーは、雨水の溜まる恐れがある場合は、排水管(20A)を取付け、屋外または間接排水口に導く。

○換気設備

項目	内容
工事概要	
方　　式	○中央方式　　●個別式
機　　器	○シロッコファン　○斜流ファン　○軸流ファン　○ルーフファン
	●換気扇　●有圧扇　●天井扇　○パイプファン　○中間ダクトファン
	○レンジフードファン　○全熱交換機　　○
ダ ク ト	●低速ダクト　　○高速ダクト
材　　質	●亜鉛鉄板　○SUS　○塩ビ　○保温消音フレキシブル
	●アルミ（●一重　○二重）
工　　法	○アングル　○コーナーボルト（○共板　○スライド）○スパイラル
	○フレキシブル
制気口類	○空調ダクト設備に準ずる。
チャンバー	○空調ダクト設備に準ずる。
フ ー ド	○鋼板　○SUS　○一重　○二重　○グリスフィルター
多湿箇所	○SUSダクト　○塩ビダクト　○厨房　○浴室・脱衣室　○

○排煙設備

項目	内容
工事概要	
機 器 類	○シロッコファン　○軸流ファン　○エンジン(○付○無)○屋外仕様
	○自家発電機（○本工事　○電気工事　○別途工事）
ダ ク ト	○亜鉛鉄板　○普通鉄板（1.6mm）
排 煙 口	○天井取付　（○スリット形　○スイング形）
	○壁取付　　（○スリット形　○　　　　）
開放装置	○手動　　○手動および遠隔可能なもの
断 熱 材	○断熱材巻き（○要　○不要）
	○断熱材（○ロックウールブランケット　○　　　　）

○自動制御設備

項目	内容
工事概要	
方　　式	○電気式　○空気式　○電子式　○電気ー空気式　○デジタル式
中央監視	○無　　○有（○本工事　○電気工事　○別途工事）
制　　御	○温度　○湿度　○風量　○水量　○差圧　○台数　○

７．特記事項

８．配管材料

名称	直圧給水管（埋設）	直圧給水管（一般）	流沫給水管（埋設）	流沫給水管（一般）	揚水管（埋設）	揚水管（一般）	汚水管（埋設）	汚水管（一般）	排水管（埋設）	排水管（一般）	通気管（埋設）	通気管（一般）	器具廻り排水管	屋外桝間排水管	給湯管（埋設）	給湯管（一般）	消火栓管（埋設）	消火栓管（一般）	油管	蒸気管	冷媒管	冷温水管	冷却水管	冷水管	温水管	ドレン管	ガス管	
配管用炭素鋼鋼管　SGP(白)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
配管用炭素鋼鋼管　SGP(黒)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道用亜鉛鍍鋼管　SGP-W	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　SGP-VA	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内外面塩ビライニング鋼管　SGP-VD	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ポリ粉体ライニング鋼管　SGP-PA	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆粉体ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　SGP-PD	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
耐熱用塩ビライニング鋼管　HTLP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
排水用塩ビライニング鋼管　DVLP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
りん脱酸継目無銅管　CUP(M)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
断熱被覆銅管（L型）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ステンレス鋼管　SUSP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道用硬質塩化ビニル管　VP(VW)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
耐衝撃性硬質塩化ビニル管　HIVP	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般用硬質塩化ビニル管　VP	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
耐熱塩化ビニル管　HTVP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
排水用鉛管　LP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道用ダクタイル鋳鉄管　CIPW	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
排水用鋳鉄管　CIP(メカニカルＪ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
耐火二層管　TMVP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遠心力コンクリート管　HP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外面ポリエチレン被覆鋼管　SGP-PS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外面塩ビ被覆鋼管　SGP-VS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
圧力鋼管（SCH40）　STPG	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集合管継手	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ガス会社指定品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
冷媒用被覆銅管　ﾒｰｶｰ標準附属品	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特記	●内面ライニング管は、防食コア内蔵継手とする。																											

９．凡例

記号	名称	記号	名称
—— - ——	給水管		給水栓
—— -- ——	揚水管		給湯栓
	汚水管		仕切弁
	雑排水管		逆止弁
------------	通気管		排水金物
—— G ——	ガス管		会所桝類
—— × ——	消火管		ガスコック類
—— R ——	冷媒管		消火栓類
—— D ——	ドレン管		換気扇類

平成２５年度中央公民館改修工事　設計図

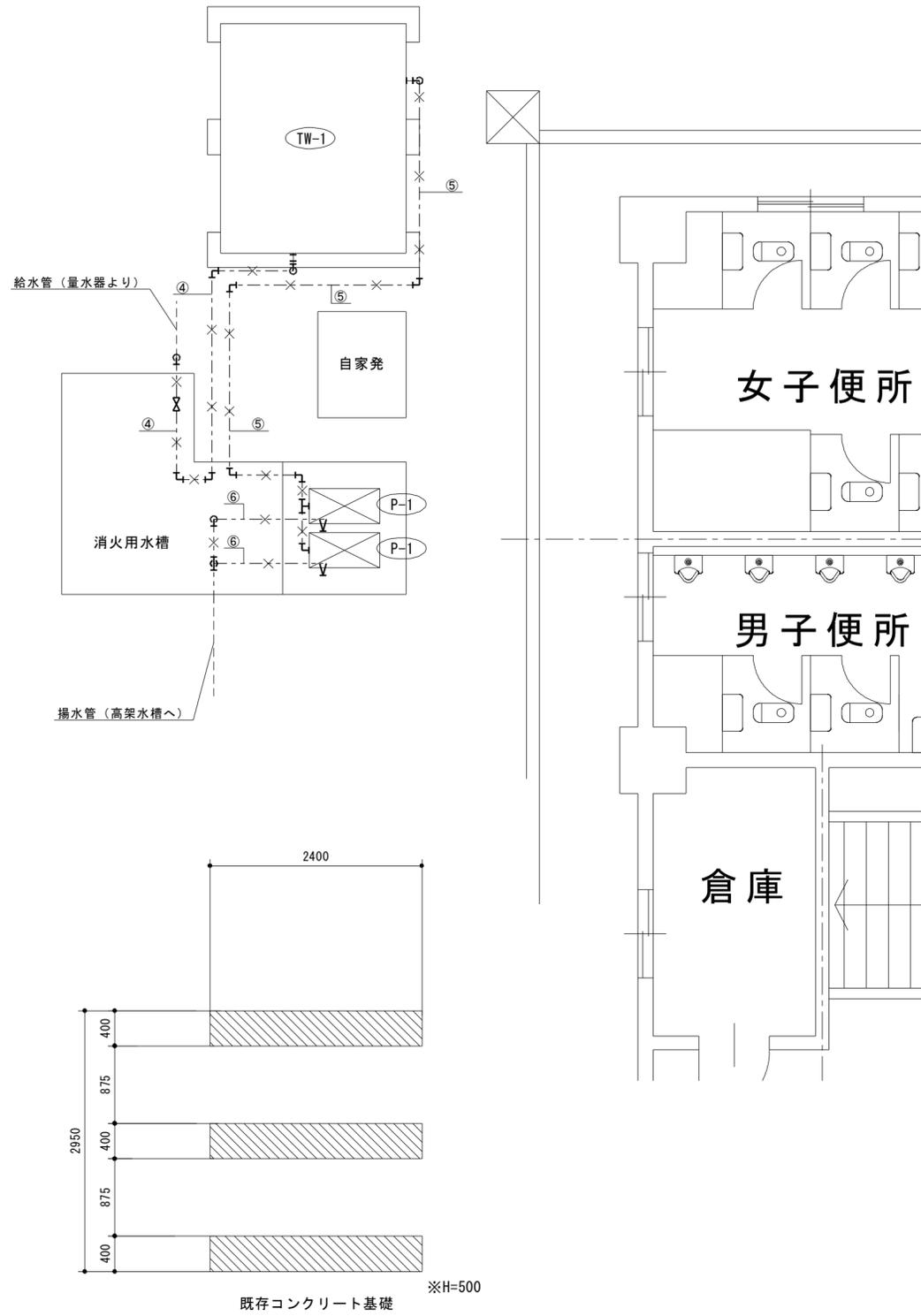
SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
特記仕様書２			
DW.	CK.	NO. M-02	DATE 25-08

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南２−２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

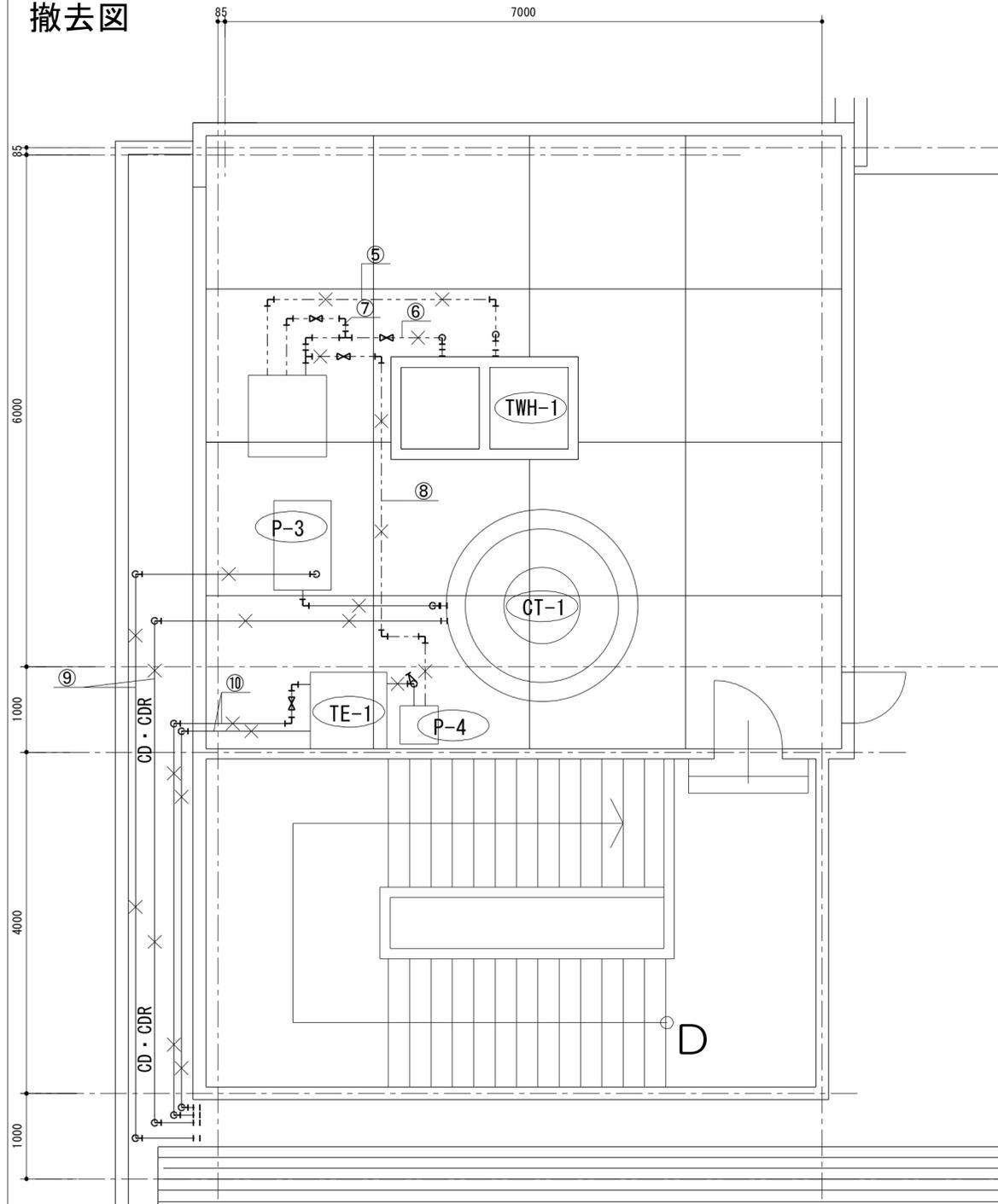
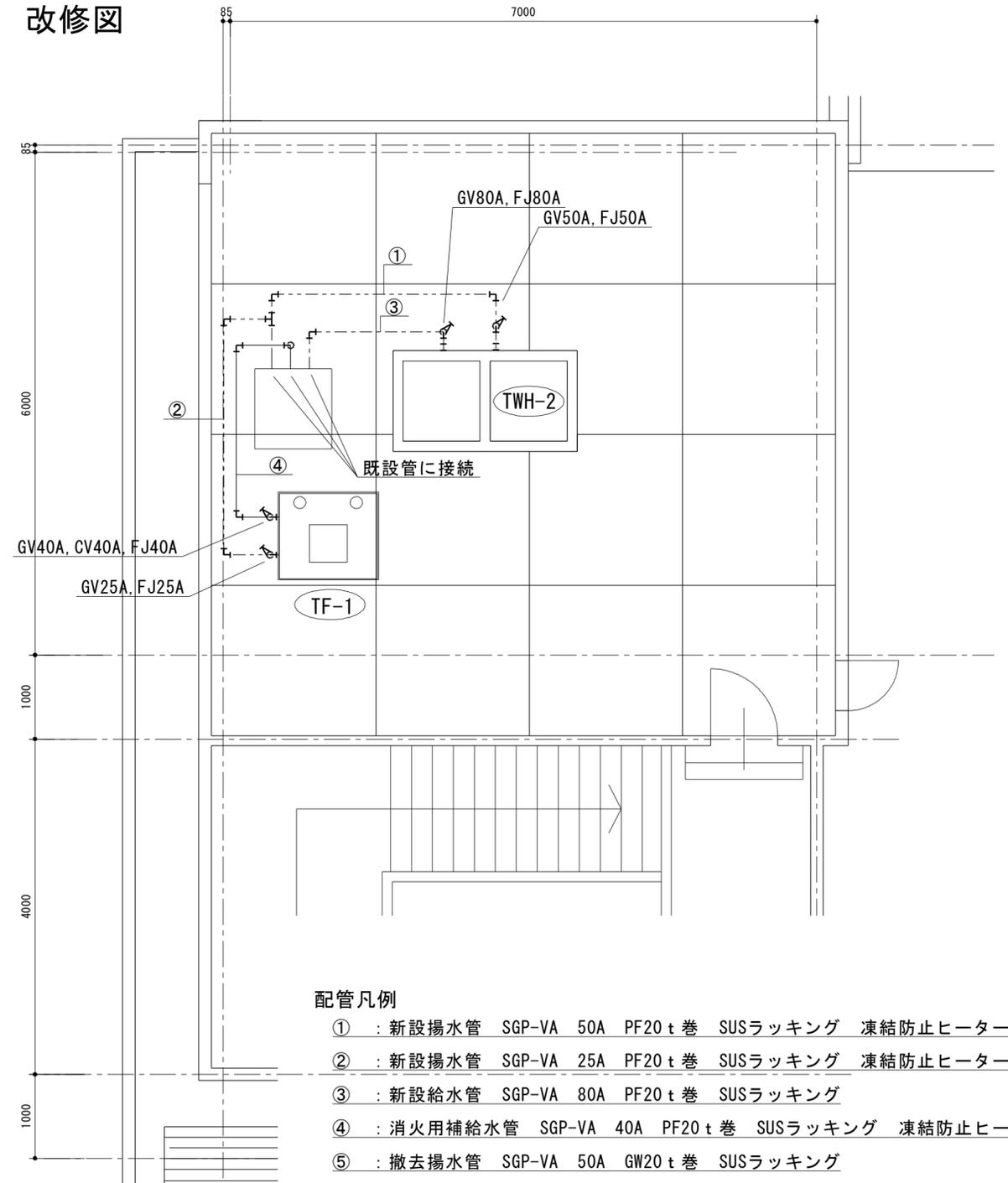
機 器 表

記号	名称	仕様	電気容量		台数	設置場所	備考
			電源	容量			
ＴＷ－１	既存受水槽	型式：ＦＲＰ製複合板パネル水槽			1	地階　屋外	本体は撤去・処分　基礎部分は改修し、再利用
		寸法：２．０ｘ２．５ｘ２．０Ｈ　　有効容量：１０ｍ^3					
ＴＷ－２	ポンプ室付受水槽	型式：ＦＲＰ製複合板パネル水槽（ポンプ室一体型）			1	地階　屋外	基礎部分は既存基礎を改修し、設置する
		耐震：１．５Ｇ					電極台加工・電気用貫通穴加工等は機械設備にて行う
		寸法：２．０ｘ３．５ｘ２．０Ｈ　　有効容量：１０ｍ^3					
		付属品：チャンネルベース（溶融亜鉛メッキ仕上げ）、内外タラップ、マンホール６００φ、					
		通気口、電極取付座、その他標準付属品共					
		※アンカーボルトはステンレス製					
ＴＷＨ－１	既存高架水槽	型式：ＦＲＰ製複合板パネル水槽			1	ＲＦ　屋上	本体は撤去・処分　基礎部分は補修し、再利用
		耐震：不明					
		寸法：２．０ｘ１．０ｘ１．０Ｈ　有効容量：２．０ｍ^3					
ＴＷＨ－１	高架水槽	型式：ＦＲＰ製複合板パネル水槽			1	ＲＦ　屋上	基礎部分は既存基礎を補修し、設置する
		耐震：１．５Ｇ					
		寸法：２．０ｘ１．０ｘ１．０Ｈ　有効容量：２．０ｍ^3					
		付属品：チャンネルベース（溶融亜鉛メッキ仕上げ）、内外タラップ、マンホール６００φ、					
		通気口、電極取付座、その他標準付属品共					
		※アンカーボルトはステンレス製					
ＴＥ－１	既存空調用補給水槽	型式：ＳＵＳ製水槽			1	ＲＦ　屋上	壁掛架台共撤去・処分
		耐震：不明					
		寸法：０．８ｘ０．８ｘ１．０Ｈ　有効容量：０．５ｍ^3					
ＴＦ－１	消火用補給水槽	型式：ＳＵＳ製消火補給水槽			1	ＲＦ　屋上	（Ｐ－３）用既存基礎を改修し、設置する
		耐震：１．５Ｇ					
		寸法：０．７ｘ０．６ｘ１．０Ｈ　有効容量：０．３ｍ^3					
Ｐ－１	既存揚水ポンプ	型式：エバラ製多段渦巻ポンプ	φ3-200Ｖ	2.2ＫＷ	2	地階　屋外ポンプ室	既存撤去・処分
		仕様：５０Ａ×１８０Ｌ/min×３０ｍ　（自動交互運転）					
Ｐ－２	揚水ポンプ	型式：給水加圧ポンプユニット	φ3-200Ｖ	2.2ＫＷ	1	地階　受水槽ポンプ室内	受水槽ポンプ室内に設置する
		仕様：３２Ａ×２５０Ｌ/ｍｉｎ×３３．３ｍ　×２台　（自動交互運転）					
		付属品：標準付属品一式　制御盤（消火水槽警報組込）　^{3}					
Ｐ－３	既存冷却水ポンプ	型式：多段渦巻ポンプ			1	屋上	既存撤去・処分
Ｐ－４	既存補給水ポンプ	型式：ホームポンプ			1	屋上	既存撤去・処分

平成２５年度中央公民館改修工事　設計図				設計・監理　一級建築士事務所
SCALE	SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所
機器表				１級建築士第１４７９３１号　野中健一
DW.	CK.	NO. M-03	DATE 25-08	〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南２−２０ TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

平成２５年度中央公民館改修工事　設計図				設計・監理　一級建築士事務所
NO　SCALE	SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所
受水槽設備　配置図				1級建築士第147931号　野中健一
DW.	CK.	NO. M-04	DATE 25-08	〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

配管凡例
①　：新設給水管　SGP-VA　50A　PF20ｔ巻　SUSラッキング　凍結防止ヒーター
②　：新設揚水管　SGP-VA　50A　PF20ｔ巻　SUSラッキング　凍結防止ヒーター
③　：新設パイロット管　SGP-VA　20A　PF20ｔ巻　SUSラッキング　凍結防止ヒーター
④　：撤去給水管　HIVP　50A　GW20ｔ巻　SUSラッキング
⑤　：撤去揚水サクション管　HIVP　50A　GW20ｔ巻　SUSラッキング
⑥　：撤去揚水管　HIVP　50A　GW20ｔ巻　SUSラッキング
撤去図
TW-1
給水管（量水器より）
自家発
消火用水槽
P-1
P-1
揚水管（高架水槽へ）
女子便所
男子便所
倉庫
6000
85
2400
400
875
400
875
400
2950
※H=500
既存コンクリート基礎
改修図
TW-2
FJ50A
FJ20A,BT20A
GV50A×3,FMV50A×20A
GV32A,CV32A,FJ32A
P-2
GV40A,FJ40A
給水管（量水器より）
既存揚水管へ接続
揚水管（高架水槽へ）
女子便所
男子便所
倉庫
6000
85
2400
400
627
400
875
1675
3977
増設部分
既存部分
既存部分
増設部分
既存部分
※H=500
コンクリート基礎改修詳細図
平成２５年度中央公民館改修工事　設計図
1:50 SCALE
SCALE
SCALE
SCALE
受水槽設備　撤去図・改修図
DW.
CK.
NO.
M-05
DATE
25-08
設計・監理
一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

平成２５年度中央公民館改修工事　設計図			
NO　SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
高架水槽設備　配置図			
DW.	CK.	NO. M-06	DATE 25-08

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

撤去図
改修図
85
7000
6000
1000
4000
TWH-1
TWH-2
P-3
P-4
CT-1
TE-1
TF-1
CD・CDR
D
GV80A, FJ80A
GV50A, FJ50A
既設管に接続
GV40A, CV40A, FJ40A
GV25A, FJ25A
配管凡例
① ：新設揚水管　SGP-VA　50A　PF20ｔ巻　SUSラッキング　凍結防止ヒーター
② ：新設揚水管　SGP-VA　25A　PF20ｔ巻　SUSラッキング　凍結防止ヒーター
③ ：新設給水管　SGP-VA　80A　PF20ｔ巻　SUSラッキング
④ ：消火用補給水管　SGP-VA　40A　PF20ｔ巻　SUSラッキング　凍結防止ヒーター
⑤ ：撤去揚水管　SGP-VA　50A　GW20ｔ巻　SUSラッキング
⑥ ：撤去給水管　SGP-VA　80A　GW20ｔ巻　SUSラッキング
⑦ ：撤去消火用補給水管　SGP-VA　40A　GW20ｔ巻　SUSラッキング
⑧ ：撤去揚水管　SGP-VA　25A　GW20ｔ巻　SUSラッキング
⑨ ：撤去空調用冷却水管（往・還）　SGP　100A
⑩ ：撤去空調用補給水管（往・還）　SGP-VA　25A　GW20ｔ巻　ラッキング
平成２５年度中央公民館改修工事　設計図
1:50　SCALE
SCALE
SCALE
SCALE
高架水槽設備　撤去図・改修図
DW.
CK.
NO.
M-07
DATE
25-08
設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南２−２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408